

スザンヌさん 30代の学び直し

タレントのスザンヌさん(34)が、この春、母校の高校に再入学した。後押しとなつたのは、小学2年生の我が子の存在。30代で高校に入り直すことを決めたくっかけや、仕事や子育てとの両立、学びへの思いを聞いた。

芸能活動で中退した高校に再入学

スザンヌさんが芸能活動を始めたのは、出身地・熊本市にいた中学生のころ。芸能コースのあった福岡市の第一経済大学付属高校(現・第一薬科大学付属高校)へ進学して以降、芸能活動が本格化し、専念するため、2年次で退学。上京後、「おバカタレント」としてテレビ番組などで人気に火がついた。

高校時代の恩師はいつも気にかけてくれ、時々連絡をくれた。高校に入り直すことを勧めてくれることもあったが、「中退で困ることはなかったし、私の中で中退したことへの後悔みたいなものもなかった」。

その後、拠点を熊本に移し、子育てをしながら芸能活動を続けていたなかで、気持ちの変化があった。小学生になった息子に「宿題しなさい」「勉強しなさい」と声をかけている自分は、これまで勉強してきたといえるのか――。

恩師はすでに退職していたが、昨年、出演したテレビ番組で、スザンヌさんが高校を卒業していないと話したことを聞いた母校の職員から連絡があっ

小学生の息子に「勉強しなさい」——自分とは?

た。高校時代の単位が通信制に残っており、再入学が可能だという。

コロナ禍のため、母校の通信制では、週1回の登校が免除され、オンライン授業が可能になっていた。ちょうどスザンヌさんもオンラインなど在宅での仕事が増えていた時期。「これをご縁だと思った」と振り返る。「自分が気づいていなかっただけで、卒業したいという気持ちどこかにあったのかもしれない」

もちろん「勉強できるのか、不安だらけだった」と言う。4月に再入学して以降、週に1日、朝から夕方までオンラインで授業を受ける。それ以外の日は1週間かけて、予習や復習をしたり、課題をレポートにまとめたりする生活だ。

オンライン授業を受ける日は友人や家族が息子を見てくれることもある。「寂しい思いをさせちゃう部分もあるかもしれない」。だが、日中に勉強をしていると気づいて部屋のテレビを消してくれたり、応援してくれたり。何より、息子に「勉強し

学びは生活に使える知識「子育てに役立てたい」

なさい」と声をかける回数が増えたと感じる。「母の背中を見て何か感じてくれたのならうれしい。すごく成長してびっくりした」

日々の勉強は朝にしている。入学当初は、子どもを寝かしつけた後の夜にしていたこともあったが、家事を済ませ、好きな海外ドラマを見て、友人らからのLINEに返事をしていたら、あっという間に寝る時間になってしまった。今では子どもと一緒に寝て、朝4〜5時には起き、家事を済ませ、子どもが起きてくるまでの1〜2時間を勉強にあてるようにしている。

「朝起きてコーヒー飲んで、『よし、やるぞ』って。すっきりして集中できる。朝型が合っていたみたい」。家事を終わらせてからでないと寝られなかったが、ぐちゃぐちゃのままでも仕方ない、と思って寝るようになった。

社会人を経験したからか、学びのどちら方も変わった。たとえば、マーケティング。消費者の購買意欲をかき立てるコンビニの陳列棚の工夫などを知って、学びは生活に使える生きた知識なのだ気づいた。思春期の子ども心理や栄養学の授業では、「息子の子育てに役立てたい」と思うと、学びの意欲もわいた。理解する楽しさを感じることができた。

8月末には前期の試験があり、33単位を取得した。10月から始まった後期で残りの12単位を取得すれば、3月には晴れて卒業だ。

「一生のうち1年。悩む1年より、一歩踏み出した1年のほうがいいなって。何歳になってもがんばれるんだとわかった」。卒業後、将来的には、子育てに生かせるような資格にも挑戦したいと考えている。



スザンヌさん=事務所提供